



## 【総務部】

### 1. 課題点、改善策

- 1) 賞状データや式次第の作成が直前になってしまった。  
→ 早めに用意を行い、修正や変更を行えるよう余裕をもつ。閉会式の1週間前までを目安に完成させる。
- 2) 式に出席頂く方へ都合をお伺いする連絡が遅れてしまった。  
→ 最終日どなたが式に出席して下さるのか、式での賞状やトロフィーの授与をどなたにお願いするのか、スムーズに進めるためにも、早めに連絡を行う。また、会場などでお会いできる方には直接のお声かけなども行う。
- 3) 発送リストと荷物内容の不一致があった。  
→ 今大会では、会場で荷物について問題となることはなかったが、今後大きな忘れ物などに発展する可能性もあるためリストの作成、確認を再度徹底する。
- 4) 式内で企画の賞の盾を前に並べておらず、式の中でお渡しすることができなかった。  
→ 事前に複数人で確認を行う。また、直前ではなく早めのタイミングで余裕をもって準備を行う。

### 2. 報告事項

- 1) 3ポイント王の受賞選手が当日会場にいられていなかったが、表彰式で名前の読み上げを行い、チームの方にお渡しを行った。

### 3. 検討事項

- 1) 企画で賞を設定する場合の表彰物  
→2年続けて、過去のトロフィーを使用した表彰を行っているが、どんな企画を行うのかも含めて、来年度検討する。



## 【広報渉外部】

### 1, 課題点、改善策

ビデオカメラの申請をせずに撮影している方がいた。  
→貼り紙等を使い、周知の徹底をする。

### 2, 報告事項

- 1) リーグに引き続き、立看板の扱い方についてエントリーの際にチームに伝えた。
- 2) 昨年度の反省を踏まえ、大会企画で投票方法をチームに必ず二人（一人は自チーム、一人は他チーム）選出してもらうようにして投票先の分散化、票数の獲得ができた。
- 3) YouTube 配信でのトラブル

#### 【主な内容と対応】

○11月23日 1試合目

配信準備段階では問題なし→配信開始直後にカメラ映像の色反転→配信停止

- ・Instagram ライブ実施
  - ・Instagram ストーリーにてお詫びの投稿
  - ・ビデオカメラ撮影継続（フル映像は後日 YouTube にてアップロード）
- OBS の設定やカメラ周辺のコードの挿し直しを何回か試みて復旧

○11月23日 2試合目

途中まで配信を順調にできていたが、再度同様のトラブル発生

→fastbreaks 様よりお借りしていた予備のビデオカメラに交換し復旧

その後の配信は問題なく行うことができた。

### 3, 検討事項

YouTube 配信においてリーグと同様のトラブルが再度起こったため、ビデオカメラの購入を強く検討したい。



**【財務部】**

**1, 課題点、改善策**

1) 初日の桃山会場の際、体育館の中（観客が見つらい場所）に受付を作っていたのでパンフレットが売れなかった。

→観客の動線の中に受付を作る、貼り紙をはる（矢印等）

**2, 報告事項**

1) 【チーム参加費】

28 チーム参加@20,000×28（内1チーム棄権）

合計：**560,000 円**（前年比±0円）

2) 【パンフレット】550部発注

チーム販売：@600×冊数 277冊

合計 166,200円

一般販売：@800×冊数 20冊

合計 16,000円

WEB販売：@1000×冊数 3冊

合計 3,000円

パンフレット売上合計 冊数 **300冊** 金額 **185,200円**（前年比-1,800円）



## 【競技部】

### 1, 課題点、改善策

#### 1) 大会日程について

最終日を祝日に開催するスケジュールで大会を編成したことにより、大学体育館の確保の確保が困難であった。

困難な要因として、

- ① 祝日に授業を実施している大学が多いこと
- ② 自チームの試合が実施されない場合、大学体育館を貸与できない大学が多いこと  
の2点が挙げられる。

これらの状況を踏まえ、大会日程の延期が可能かについて参加大学を対象にアンケートを実施したが、全大学から承認を得ることはできなかった。

このことから、一度リリースした大会日程を後から変更することは、今後も困難であると考えられる。

また、各大学における祝日授業の増加は、体育館確保の困難さに加え、選手及び学連員双方にとって大きな負担になっている。

以上を踏まえ、今後は祝日に試合を開催することは、可能な限り避けるべきであると考ええる。

#### 2) TO 派遣について

ベスト4以降の試合について、第1試合にTO派遣を行った。

今大会は、会場校である大阪大谷大学及び決勝進出チーム(大阪体育大学、関西外国語大学)より協力をいただき対応した。

→競技部学生と理事が連携し、どの大学に対して「いつ・誰が・どのような連絡手段で」依頼を行うのか明確にした上で、計画的に調整を進める必要がある。

→事前に財務部への連絡を行い、経費面(交通費)を含めた連携を図る。

## 2, 報告事項

### 1) 駐車場について

会場校より事前に指定されていた駐車場について、理事およびチームへ事前周知を行っていたが、指定外の場所へ駐車していたケースが確認された。

→注意喚起の回数を増やす(例：前日・当日朝など、複数回配信する)

→各チームへ代表者確認を必須にする。



### 3, 検討事項

#### 1) TO について

- ・武庫川女子大学より、無線機を借用し、ベスト8以降の試合ではタイマーを対面で設置して試合運営を行った。
- ・代表者会議において、TO 注意事項を抜粋して周知した。
- ・全試合において、学連員がコミッショナーを担当した。

#### 【コミッショナーをした学連員の所感】

- ・ファウル発生時、審判が番号を示す位置が遠く、背番号を正確に確認できない場面が複数回あった。その結果、番号の見逃しや、見間違えが生じるケースがあった。
- ・A スコアラーは、ファウルの数を示す役だけではなく、スコアラーの補佐であるという認識を改めて周知する必要がある。
- ・ファウルの対象選手が不明な場合には、曖昧にせず、その場や直後に審判に声をかけ確認するよう、引き続き周知が必要である。
- ・現在コミッショナーが使用しているモルテンの電子ホイッスルについて、音が十分に響かず、審判に聞こえないケースが複数回発生した。試合をスムーズに行うためにも大音量ホイッスルの導入を検討する必要がある。

#### 【審判部】

##### 1, 課題点、改善策

- 1) 出身校被りが起きてしまった。  
→周りの人から意見をもらいながら組み合わせの勝ち予想をする。
- 2) レフリーが体調不良の際の対応に時間がかかってしまった  
→即座に候補をあげ、候補が決まり次第すぐに確認する
- 3) 前もって京都産業大学の注意事項を対戦校記入版のメールと一緒に配信することができた。しかし、車で来られていた方がいたためもう少し伝わりやすくする必要がある。

##### 2, 報告事項

- 1) C級審判審査会を実施することができた。